

K A W A K A M I D A M 2007
川上ダム通信 4月号

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

新所長就任挨拶

川上ダム建設事業の確かな前進へ!!!

平成 19 年 4 月 1 日付けで川上ダム建設所長を拝命いたしました酒井進でございます。伊賀地域の「安全・安心」の支えとなる川上ダム建設事業を確実に前進させることを肝に命じ、責任の重さに身の引き締まる思いで赴任して参りました。

川上ダム建設所が旧・青山町阿保の地に事務所を構えてから 25 年が過ぎようとしております。この間、国及び三重県、地元自治体などのご協力を賜り事業を展開してまいりました。特にダム建設に伴う水没地の皆様は永年住み慣れた故郷から、家屋移転を余儀なくされながらも、事業にご協力を頂きました。心より感謝申し上げます。

さて、川上ダム建設事業にとって平成 19 年度は、ダム本体工事着手の条件となる関係法律の手続きは勿論ですが、ダム事業計画を確定し今後の本格的なダム工事着手のための準備をする年であり、現在、ダム本体を含めて残っている全ての工事計画等の

精査・見直しを行っているところであります。このような中、近年の集中豪雨の頻発や小雨化傾向等による治水・利水への影響が懸念される状況であり、1 日でも早く川上ダムを造り水を貯めることが、私たちダム事業者・水資源機構の責務であると痛感しております。



川上ダム建設所長 酒井進

今後とも、皆様と情報を共有するとともに、徹底したコスト縮減、説明責任、法令遵守、また、地域との連携を機動性をもって推し進めながら、業務の執行に努めて参る所存でございます。ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

『郷里のダム』を支援していきたい ～沢田敏男先生が来所～



来所された沢田敏男先生（右奥）

地元伊賀出身で文化勲章受章者の沢田敏男先生（京都大学元総長）が、3 月 30 日（金）に川上ダム建設所に来所されました。

先生からは、「公共事業を進めるにあたっては、過去の歴史を良く勉強し、また海外も含めた幅広い知見をもって、将来を見据えて仕事をしていくことが必要である」とのご指導を頂きました。

また、「川上ダムを『郷里のダム』として支援していきたい」という力強いお言葉も頂きました。職員一同、先生の言葉を胸に、より良い公共事業を目指して事業進捗に努力して参ります。

【工務課長 北牧正之】

旧生活相談所を建設所敷地内へ移転

平成19年3月にダムサイト上流の西の沢橋西詰にあった旧生活相談所を川上ダム建設所敷地内に移転しました。この建物は、平成9年4月から川上ダム建設事業に伴い、“多くの人々のために！”と苦渋の決断をして、先祖伝来の住み慣れたふるさと「川上」の地から移住していただいた川上住民の皆様が、移住後の生活設計のことなど様々な課題を生活相談員と相談した想いが詰まったものです。

この度川上ダムではこの旧生活相談所を、新たに防災倉庫として活用することとしました。職員一同、生活相談所に対する川上の皆様の想いを心に留め、皆様への感謝の気持ちを忘れることなく一日も早いダム完成を目指し日々の業務に携わっていきます。【第一用地課 山口和宏】



移転後の旧生活相談所

安全第一で進める川上ダム事業 ～19年度労働安全重点目標を決定～

川上ダム建設所では、「事業による労働災害を防止し、業務を安全かつ円滑に推進する」ために、川上ダム建設所安全協議会を毎月1回開催しています。

その活動内容は、各工事現場に行き危険な箇所や作業員が危険な行動をとっていないか等の確認を行う「安全パトロール」を中心に、労働安全重点目標の設定、季節毎に起きやすい事故の事例報告及び安全に関する討議・情報交換等を行っています。

4月24日（火）に開催した平成19年度第1回川上ダム安全協議会では、今年度の労働安全重点目標を「作業手順を再確認し、墜落、建設機械、資材落下の3大要因事故を一掃しよう！」にすることに決定しました。今後とも安全第一に工事を進められるように安全協議会の活動を進めていきます。【川上ダム安全協議会事務局 柴田健一】



川上ダム安全協議会の様子

職員全員で19年度の業務執行方針を共有・確認 ～所内事業説明会を実施～



事業説明会の様子

川上ダム建設所職員を対象にした平成19年度当初の事業説明会を4月16日（月）に行いました。これは毎年、年度当初に所長から職員に対して一年間の業務執行方針を説明し、一年間の業務計画を確認・共有するために実施しているものです。

所長からは、新ダム事業計画を確定させて事業実施計画の変更手続きを進めることや、付替県道松阪青山線の19年度中の概成を目指すといった事業計画が職員に対してなされました。

【総務課 武村剛泰】

平成19年度実施工事（発注予定も含む）

川上ダム建設所では、平成19年度は総額18億4700万円（前年度比122%）の予算をもって、付替県道松阪青山線の工事や環境調査等を進めて参ります。

現在実施中の工事及び平成19年度の発注予定工事は下表に示すとおりです。今年度は施工中の工事の進めるとともに、付替県道松阪青山線の概成、20

年度の供用開始に向けて、5号橋上部工工事や落石対策工事等を実施していきます。なお、工事にあたっては安全に十分配慮し、また地域の交通等に支障の無いよう配慮してまいりますので、地域の皆様のご協力をお願いいたします。

【工務課長 北牧正之】

工 事 一 覧 表

| 番号 | 工 事 名 | 工 期 | | 工 事 概 要 | 備 考 |
|-----|---------------------|--------------|---------------|----------|-----|
| | | 自 | ～ 至 | | |
| (1) | 付替県道松青線4号橋上部工工事 | 平成18年3月25日 | ～ 平成19年7月17日 | 橋梁上部工 1式 | |
| (2) | 付替県道松青線第5工区（その8）工事 | 平成18年10月13日 | ～ 平成19年9月29日 | 道路工 1式 | |
| (3) | 付替県道松青線第5工区（その6）工事 | 平成19年2月9日 | ～ 平成19年12月25日 | 道路工 1式 | |
| (4) | 付替県道松青線第5工区（その7）工事 | 平成19年2月9日 | ～ 平成20年2月23日 | 道路工 1式 | |
| (5) | 付替県道松青線5号橋上部工工事（仮称） | 第1四半期（約10ヶ月） | | 橋梁上部工 1式 | |
| (6) | 付替県道松青線落石対策工事（仮称） | 第3四半期（約5ヶ月） | | 落石対策工 1式 | |
| (7) | 付替県道松青線舗装工事（仮称） | 第4四半期（約3ヶ月） | | 舗装工 1式 | |
| (8) | 付替県道松青線標識等設置工事（仮称） | 第4四半期（約3ヶ月） | | 標識設置工 1式 | |

第10回

ちよつとオオサンショウウオ！

オオサンショウウオの確認数

川上ダム建設所では平成8年から、主に前深瀬川や川上川の本支川（合計約38km）でオオサンショウウオの生息確認調査を行ってきていますが、調査でオオサンショウウオを捕獲し身体測定などをした後、身体に標識を付けて川に帰します。これは、



調査で捕獲したオオサンショウウオを身体測定！

オオサンショウウオごとに名前を付けて次の調査で捕獲したときに、そのオオサンショウウオが以前に捕獲したことがあるかどうか見分けられるようにするためです。

調査を始めてから平成18年で11年になりますが、前深瀬川と川上川の本支川で見分けられるオオサンショウウオの数は、700個体以上になります。前深瀬川と川上川の本支川の延長は、それぞれ約19kmでほぼ同じ長さなのですが、オオサンショウウオの確認数は、前深瀬川が約300個体、川上川が約400個体で、川上川の方が多く確認されています。（つづく）

【環境課長 大村朋広】



建設所を彩る花々たち

開花したソメイヨシノとチューリップ

◇川上ダム建設所玄関前にあるプランターのチューリップが見頃を迎えました。これは、伊賀市商工会議所青山支部女性部の皆さん等のご厚意によ

り、植えられたものです。5月上旬まで可憐な花が楽しめそうです。

◇前深瀬川に架かる大井手橋手前のソメイヨシノが今年初めて開花しました。このソメイヨシノは、地元の伊賀市立阿保小学校の児童らが平成13年に植樹した記念樹で、伊賀市と川上ダム建設所がメンテナンスを行ってきたものです。ソメイヨシノの来年以降の更なる生長を見守っていきたいと思います。

【総務課 武村剛泰】

連載企画

《第⑦話その1 英雄・千方の伝説》

あっけなく四天王が去った後、さすがに千方は肩を落しましたが、気を取り直し「阿保の里を見捨てる訳にはいかぬ」と残る臣下たちとねばり強く抗戦を続けました。どうやっても陥落せぬ千方軍に手を焼いた紀友雄は、「いたしかたない。最後の手段、焦土作戦だ」と、三方から猛火を放って山城を攻めたてました。七日七晩天を焦がすほどの炎に、ついに千方城壊滅か、と思われたとき、突然暗雲が低く

創作『阿保千方湖物語』

たれこめ雷鳴とともに大雨が降り続き、この豪雨について千方以下の将兵は伊勢の国に逃れたといえます。

千方は『笛吹石』の上で、愛用の竹笛をこの世の別れに吹いたとか。一説には家城の『瀬戸の淵』にて討たれたとも言われますが定かではありません。(つづく)

[川上ダム建設所編集]

新人通信記者紹介

この度、川上ダム通信の通信記者を務めることになりました環境課の磯野正典と申します。川上ダム建設所は自然にやさしいダムづくりを実践しております。私は伊賀の豊かな自然について深く勉強し、地域の方々との交流を深めるために、通信記者として情報の収集・発信に取り組み、人間的に成長していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



EVENT

第20回青山高原つつじクォーターマラソン

青山高原ロードで開催されるマラソン大会。距離別に3部門に分かれ、毎年1000名を超えるランナーが参加します。参加料金は大人2,000円。
○日時／5月27日(日) 8:30~12:30
○問い合わせ／伊賀市教育委員会青山分室内大会事務局
TEL:0595-52-1110

☆☆皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。ハガキやメール等でどしどしお寄せください。☆☆
◇川上ダム建設所はISO14001を取得し、環境保全を推進しています。この広報紙は古紙配合率100%再生紙を使用しています。◇

編集後記

19年4月号から発行事務局は6人での新体制でのスタートとなりました。充実した紙面作りを事務局一同進めていきますので、よろしくお願いいたします。

【広報誌発行事務局】

編集長 酒井 進 (川上ダム建設所長)
デスク 上村 信幸 (総務課長)
" 北牧 正之 (工務課長)
通信記者 武村 剛泰 (総務課)
" 立石 浩行 (調査設計課)
" 磯野 正典 (環境課)



ISO14001 : 2004
JQA-EM5769